

第2回北海道PT パラスポーツミーティング

健康スポーツ局 障がい者スポーツ支援部
部長 塚田 鉄平



9月10日に行なわれた第2回北海道PTパラスポーツミーティングの様子をお伝えしたいと思います。

今回はパラスポーツを行う上で欠かす事が出来ない車椅子などの『道具』を制作しているCOM泉屋の泉谷昌洋氏を講師にお招きし、ミーティングを開催しました。



泉谷氏からは『障がいを持たれた方に安全なスポーツ環境を提供するためには、安全性の確保が重要で、安価に行おうとすると事故が起こったり、パラスポーツを支えている人が窮屈になったりし、パラスポーツが先細りしていく危険がある。』という提言を基に活動していることが示されました。お話の中で泉谷氏の工房で制作している、障がいを持ったお子さんが小さい頃からできるだけパラスポーツがし易い車椅子に乗れるようにするためのアタッチメントの紹介がありました。普通型車椅子につけてタイヤにキャンパー角をつけたり、転倒防止装置をつける快適RACREC(価格4~8万:自費)というアタッチメントです。また、補装具費支給制度を使い、自己負担を軽減させた上でスポーツを楽しむ易くする姿勢を作るためのシーティングクッションを制作しているとの事でした。

泉谷氏からは理学療法士に対しては、これらの情報を当事者に提示をした上で、パラスポーツができるか選択してもらう事をお願いしたいとの事でした。またパラスポーツを体験するイベントや場所等を当事者に紹介してもらいパラスポーツの入り口になってもらいたいとも伺いました。

参加者からは、メンテナンスに関わる事や地域性の違いなどが議論として挙がり、参加者同士でコミュニケーションを取っていました。

泉谷氏は毎週健常者、知的障がい、身体障がい、視覚障がい、聴覚障がいのある方などを集め、パラスポーツをする機会を作り、毎週15名程集まり汗を流しています。

成果を発表する場所として一年に一度、北海道アダプテッド陸上大会が予定されています。

今回のミーティングでは、講師の体調不良もあり、開催日が変更になった事で参加出来なかった会員の方がいたことは、お詫び申し上げます。

第3回のパラスポーツミーティングは12月17日にハイパフォーマンスセンターに勤務されている笹代純平氏をお招きして開催を予定しています。こちらでは、競技力向上に対するアプローチ、医学研究の進め方などに焦点を当てて行いたいと考えています。是非多くの参加をお待ちしています。



パラスポーツの理解を深めるための北海道パラスポーツミーティングは、本会ホームページへ随時、開催案内を掲載いたしますのでご確認ください。

【メールでのお問い合わせ】 dsports.health.hpta@gmail.com